



7月15日

平成30年

発行

山田宏よい国後援会 機関紙



「戦後」は終わった

いま世界は、「戦後」の大きな分岐点に立っています。

「アメリカによる平和」と「一つのヨーロッパ」という二つの潮流を絶対と信じてきた「戦後」は、「米国ファースト」のトランプ大統領の登場と「英国のEU離脱」決定でほぼ終わりを告げ、これまで米国に抑えられてきた地域パワーのロシアや中国などが、米国中心の秩序に対してあらさまに挑戦し始めています。

「昨日も今日も平和だった。だから明日も平和が続くはず」

江戸の260年間の泰平に慣れてきた日本人は、誰もがそう信じていましたが、黒船来訪で大きく時代は変わり歴史の「分岐点」となりました。

そしてまさに北朝鮮危機こそ、東アジアでの米国の秩序が崩れていく「平成の黒船」であり、これからわが国は、東アジアで覇権をめざす中国とどう向き合っていくのかが問われてくることとなります。

「38度線」が対馬海峡まで下りてくる

歴史的な米朝首脳会談を境にして、今後北朝鮮は望もうが望ままいが中国への依存を高めていくでしょう。また南北融和に突き進むムン韓国大統領のもとで、在韓米軍の撤退が現実

日本の「国家としての自立」が急務！ 「38度線」が対馬海峡に下がってくる!? 参議院議員 山田宏



味を帯びてくるでしょう。今まで東アジアにおいて、独裁全体主義体制と自由民主主義体制の境界となっていた「38度線」は、中期的には次第に対馬海峡まで南下し、近い将来韓国の済州島にも中国軍艦が入り入るようになることも覚悟しなければならぬ日が来るかもしれません。

将来太平洋の西半分を支配をめざすと公言する中国にとつて、太平洋への出口を塞いだ形になっているフィリピン、台湾、日本は、何としても突破しなければならぬ戦略上重要な地域であり、今後対馬海峡でも中国と対峙すること



になれば、尖閣諸島の東シナ海から対馬海峡を通って日本海にいたる海域で、日中間の緊張が高まることも予想されます。そして米国の存在が東アジアでも相対的に低下して行く中で、遅かれ早かれわが国は、「中国に従属するのか、それとも独立自尊を貫くのか」という覚悟と決断が求められることになると思います。

「自立した日本へ、取り組むとき

歴史をみると、勃興する中国（大陸国家）とそれに呼応する朝鮮半島の国という構図が東アジアに生じると、わが国は大きな災禍に見舞われ、国の体制が大きく変わるきっかけとなってきました。唐と新羅（朝鮮）の連合軍に敗れた白村江の戦い（663年）や、元と高麗（朝鮮）の連合軍による元寇（1274と1281年）の後、わが国は防衛と国力増強に注力し、それが大きな国家の変革につながっていきました。欧米の侵略に対抗すべく明治維新を成し遂げた時も、その後朝鮮半島の不安定な国情に足を取られ、中国（清）やロシアという大陸国家との戦争にまで及んでいった歴史もありました。

いま「戦後」の分岐点に臨んで、核もミサイルも拉致問題も、すべて米国頼みの「アメリカによる平和」の眠りから、日本人がどこまで目覚めることができるかが問われています。先人の努力で守られてきた「独立自尊」の日本を次世代にしっかりと継承していくために、防衛や外交、憲法改正、教育改革など国家の「自立」のための基本問題に真正面から取り組む時がきたと思います。

【外資による土地買収問題】

北海道や対馬での外資による土地買収は、今や奄美大島や佐渡島なども含め全国的に急速に拡大し、わが国の安全保障や治安維持の観点から国民に不安が広がりつつあります。一方政府の土地管理に関わる担当省庁がバラバラで、「領土」としての土地管理を司る行政機関がなく、外資等の土地買収や利用実態の把握すらできてない状況にあります。

そこで、自民党でその対策を検討してきた「安全保障と土地法制に関する特命委員会」で、総理直属の「調査会」を速やかに設置するよう提案し、今後の検討課題となりました。

外資土地買収で調査会

自民特命委が設置提案

外国資本による離島や森の土地買収問題を検討している自民党安全保障と土地法制に関する特命委員会（新藤義孝委員長）は29日、党本部で役員会を開き、安全保障の観点から土地の取引・利用実態を把握する組織として、政府に国土管理問題調査会（仮称）の設置を提案することを含め、引き続き対策を協議する方針を承認した。調査会の設置は、山田宏参議院議員らが提案した。出席した複数の議員による

11月3日は、歴史と伝統を「明治の日」に!

「明治の日」実現する 議員連盟が発足

会長・古屋圭司代議士／幹事長・稲田朋美代議士 事務局長・山田宏

5月11日約100名の自民党議員の賛同のもとで、現在文化の日と定められている11月3日を、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」という文化の日の趣旨も踏襲しつつ、わが国の大激動期であった明治という時代をしのぶ「明治の日」に改称することをめざすため、「明治の日」を実現するための議員連盟が発足しました。

現在NHK大河ドラマでは「西郷どん」が人気で、明治維新への国民の関心の高まりを背景に、もともと「明治節」として明治天皇の誕生日を祝う日であったこの日を、昭和天皇の誕生日だった4月29日の「昭和の日」と同様に、「明治の日」への改称を実現するため、今後他党議員の賛同も得て祝日法の改正をめざしていきたいと思えます。

ちなみに11月3日を「文化」と直接結びつけられる歴史や出来事はなく、あえて「文化の日」と言うならば、世界最古の長編小説である源氏物語が作られたとされる11月1日の「古典の日」がふさわしいと考えます。

